

2011年11月吉日

国立新美術館

国立新美術館 開館5周年

国立新美術館は2012年1月21日(土)に開館5周年を迎えます。これを記念して、開館記念セレモニーなど、様々なスペシャルイベントを予定しております。
2012年は年間を通して国立新美術館の魅力を再発見していただけるような活動を展開してまいります。

開館5周年シンボルマーク決定



国立新美術館開館にあたっては、「開かれた新しい美術の場」をコンセプトにシンボルマークをデザインしました。さまざまな企画展やワークショップ、幅広い層に向けたコミュニケーション活動を通して、この5年間でまさに、日本、東京の中心部から、社会に対して新しい美術の場を提供してきた国立新美術館。美術と人、美術と地域との関わり合いの新しいあり方を提示する存在となったことをとても嬉しく思うと同時に、今後も新たな可能性に向かって進化し続けてほしいという願いを込めて、5周年記念のロゴをデザインしています。

アートディレクター 佐藤可士和



1月21日(土)は開館5周年を記念し展覧会観覧料が無料

開館記念日の1月21日(土)は開催中の全ての展覧会の観覧料が無料となります。
(「野田裕示」展、「DOMANI・明日展」、「第60回 独立書展」)

ホームページ <http://www.nact.jp> 5周年特設ウェブサイト http://www.nact.jp/5th_anniversary/

 <http://www.facebook.com/nact.jp>

 @NACT_PR 5周年に関する情報を中心につぶやきます。

《本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先》

国立新美術館 広報担当：滝沢・石松・窪田

TEL:03-6812-9925 (平日 10:00-17:00) FAX:03-3405-2532 E-MAIL: pr@nact.jp

<参考資料>

国立新美術館の5年間のあゆみ

2007年1月21日に開館して以来、国立新美術館は「展覧会の開催」「美術に関する情報や資料の収集・公開・提供」「教育普及活動」の3つを柱に活動を続けてきました。

展覧会の開催

国内最大級の展示スペース(14,000 m²)を生かした話題の展覧会を多く開催し、これまでに約1280万人の展覧会入場者(2011年10月31日現在)をお迎えしました。

◆主な企画展

- ・「国立新美術館開館記念展 20世紀美術探検—アーティストたちの三つの冒険物語—」(2007)
- ・「スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション」(2007)
- ・「エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家—」(2008)
- ・「アヴァンギャルド・チャイナ—〈中国当代美術〉二十年—」(2008)
- ・「THE ハプスブルク」(2009)
- ・「オルセー美術館展 2010—ポスト印象派」(2010)
- ・「アーティスト・ファイル」展 (2008,2009,2010,2011)

公募展

公募展等の会場として全国的な活動を行っている美術団体に発表の場を提供しています。

年度別入場者数

平成19年度 1,317,508人 平成20年度 1,309,747人

平成21年度 1,246,840人 平成22年度 1,266,989人

◆その他

毎年、文化庁主催の「文化庁メディア芸術祭」「DOMANI・明日展」の会場となり多くのお客様にご来館頂いています。



「アーティスト・ファイル 2011」 鬼頭健吾 展示風景

美術に関する情報や資料の収集・公開・提供

当館は、作品を収集しない代わりに美術に関する資料や情報を収集し公開する、新しいタイプの美術館です。その意味で、情報資料室が担っている仕事は、当館の「顔」ともいうべき重要なものだと信じ、がんばってきました。

最初の3年間は、まさに無我夢中。開館当初は、多い時は1日1,000人を超えるお客様がアートライブラリーに來られ、対応におおわらわしたり、当館の資料コレクションの核である展覧会カタログを充実させるため、全国の美術館・博物館に過去開催された展覧会のカタログの寄贈をお願いしたりで、あっという間に過ぎてしまいました。

おかげさまで展覧会カタログの所蔵数は日本一となり(約8万点)、リピーターとしてアートライブラリーを利用してくださる方は増えました。活動が軌道に乗り始めた昨年からは、アートライブラリー内で貴重資料のケース展示を行ったり、資料担当職員のお薦め本のコーナーを設けたり、資料に関連する講演会を開催したりと、積極的な情報発信も始めています。

今後はカタログだけでなく、DMや目録、写真など展覧会に関連する他の資料の収集・公開にも力を入れ、一般のお客様だけでなく専門家にも一目置かれるコレクション作りを目指します。

(情報資料室長 平井章一)



3階 アートライブラリー



別館1階 特別資料閲覧コーナー

教育普及活動

国立新美術館では、来館者の作品鑑賞の充実を目的に多彩なプログラムを実施してきました。展覧会に合わせた講演会やアーティスト・トーク、シンポジウムのほか、クリスト&ジャンヌ=クロードやクリスチャン・ボルタンスキーらを招いた講演会は、現代美術の巨匠の芸術に直に触れる貴重な機会となりました。毎年発行している鑑賞ガイド「アートのとびら」や「小さなアーティスト・ファイル」も、現代美術を分かり易く読み解くツールとして、毎回好評をいただいています。

一方、幅広い視点から「木」や「森」について考えた「森から始まるリレートーク：暮らし、環境、デザイン、そしてアートと『木』」をはじめ、従来の美術の枠を超えた多様なプログラムも開催してきました。美術だけでなく、ファッションやデザインなど様々な分野で活躍するアーティストを講師に招いたワークショップも開館以来30回以上を重ね、5周年を機に記録集も発行されます。

来館者を対象としたプログラムのほか、美術館活動の理解の促進や人材育成を図る試みも継続しています。美術館が開館した2006年度以来、45名のインターンを受け入れたほか、ボランティアとして活動する大学生・大学院生のサポート・スタッフの延べ登録数は400名以上に達しました。

(教育普及室長 西野華子)



企画展一覧

※入場者数は国立新美術館によるもので、共催各社の発表する数字と異なる場合があります。

	展覧会	会期	入場者数
2007年	国立新美術館開館記念展 20世紀美術探検—アーティストたちの三つの冒険物語—	1/21～3/19	89,475
	黒川紀章展—機械の時代から生命の時代へ	1/21～3/19	166,793
	文化庁メディア芸術祭10周年企画展 日本の表現力 アートとエンターテインメントの融合と進化	1/21～2/4	52,093
	異邦人(エトランジェ)たちのパリ 1900—2005 ポンピドー・センター所蔵作品展	2/7～5/7	315,266
	国立新美術館開館記念 大回顧展モネ 印象派の巨匠、その遺産	4/7～7/2	704,420
	スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション	6/6～8/13	60,056
	日展100年 一目でわかる!日本の美術この100年	7/25～9/3	135,486
	安齊重男の“私・写・録(パーソナル・フォト・アーカイブス)”1970-2006	9/5～10/22	15,895
	国立新美術館開館記念 アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展	9/26～12/17	493,886
	文化庁芸術家在外研修制度40周年記念「旅」展—異文化との出会い、そして対話—	12/15～1/28	18,772
2008年	没後50年 横山大観—新たなる伝説へ	1/23～3/3	223,671
	第11回 文化庁メディア芸術祭	2/6～2/17	40,553
	アーティスト・ファイル 2008—現代の作家たち	3/5～5/6	29,823
	モディリアアーニ展	3/26～6/9	260,117
	エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家—	5/28～7/28	100,221
	ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密	7/2～9/15	132,403
	アヴァンギャルド・チャイナ—〈中国当代美術〉二十年—	8/20～10/20	18,570
	巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡	10/4～12/14	312,390
	未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2008 文化庁芸術家在外研修の成果	12/13～1/26	14,985
2009年	加山又造展	1/21～3/2	123,065
	第12回 文化庁メディア芸術祭	2/4～2/15	51,505
	アーティスト・ファイル 2009—現代の作家たち	3/4～5/6	37,426
	ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち	3/25～6/1	221,892
	野村仁 変化する相—時・場・身体	5/27～7/27	14,037
	生誕150年 ルネ・ラリック華やぎのジュエリーから煌きのガラスへ	6/24～9/7	120,990
	光 松本陽子/野口里佳	8/19～10/19	20,188
	THE ハプスブルク	9/25～12/14	390,219
	未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2009 文化庁芸術家在外研修の成果	12/12～1/24	14,037
2010年	ルノワール—伝統と革新	1/20～4/5	331,087
	第13回 文化庁メディア芸術祭	2/3～2/14	58,242
	アーティスト・ファイル 2010—現代の作家たち	3/3～5/5	33,866
	ルーシー・リー展	4/28～6/21	113,584
	オルセー美術館展 2010「ポスト印象派」	5/26～8/16	777,551
	マン・レイ展 知られざる創作の秘密	7/14～9/13	75,124
	陰影礼讃—国立美術館コレクションによる	9/8～10/18	29,143
	没後120年 ゴッホ展—こうして私はゴッホになった—	10/1～12/20	595,346
	未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2010 文化庁芸術家在外研修の成果	12/11～1/23	15,881
2011年	第14回 文化庁メディア芸術祭	2/2～2/13	63,490
	シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥーセンター所蔵作品による—	2/9～5/15	189,971
	アーティスト・ファイル 2011—現代の作家たち	3/16～6/6	21,114
	ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション	6/8～9/5	380,304
	モダン・アート, アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション	9/28～12/12	